



こまくさ

令和7年度

1月23日 No57

仙北市立生保内小学校

学校報

教育目標～夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

学校の様子から

スキー学習・教室の

ご協力ありがとうございます!

1月15日の6年生のスキー教室を皮切りに、1月31日(金)までスキー学習・スキー教室が7回続きます。本校のスキー教室・学習は10年ほど前から、体育の授業として「スキー技術の向上」を目的としたスキー学習と学校行事として「スキーを楽しむ」ことを目的としたスキー教室の両方を実施しています。本校がスキー場に近きことを生かした取組ではありますが、保護者の皆さんや地域の方々の多大な協力をいただいているからこそ実施できることだと思います。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



1月21日 「立志」授業

(6年：総合的な学習の時間)

5・6校時に、6年生が「立志授業」を受けました。今回の講師は、前PTA 会長さんと二名の地域の方々です。

一人ひとりが目指す志(心指し)を山に見上げて、その頂上に向かって、これからどのようなことをして人の役に立っていくのかを考える「お役立ち山」づくりに取り組みました。



この日は、事前に各自が作成してきた「お役立ち山」を学級内で話し合い、どのような方向に進んでいけばよいか、また具体的にどのように人の役に立つことができるのかを検討し合いながら、完成を目指しました。

2月18日に行われるPTA 授業参観では、子どもたちが完成させた「お役立ち山」について発表します。

雪の日の安全についてのお願い

このところ大雪が続き、生保内地区でもたくさんの雪が積もっています。学校では、子どもたちが安全に過ごせるよう、次のようなことを伝えています。

- ◇屋根の上に積もった雪が落ちてくることがあります。とても危ないので、軒下には近付かないこと。
- ◇足を滑らせ落ちるととても危険なため、流雪溝に近付かないこと。
- ◇作業しているときは、音が大きくて周りが見えにくくなるため、除雪車に近付かないこと。
- ◇除雪したあとの雪山は崩れることがあるので、雪山に登って遊ばない。

雪の日も子どもたちが元気に過ごせるよう、ご家庭でも見守りと声かけをお願いします。

写真は、職員室から見える「渡り廊下」の屋根の様子です。本校の東側には、木造校舎時代の名残である「渡り廊下」「旧音楽室



(現在は倉庫)「給食室」があります。最近の大雪により、屋根には約1メートルもの雪が積もり、危険な状態となったため、教育委員会の皆さんに『雪下ろし』をしていただきました。天気予報によると、もうしばらく大雪が続く見込みとのお事ですので、今後も十分に注意していきたいと思っております。